

退避施設マップ

〈名古屋駅周辺地区〉

—大規模地震発生から24時間後まで—



English

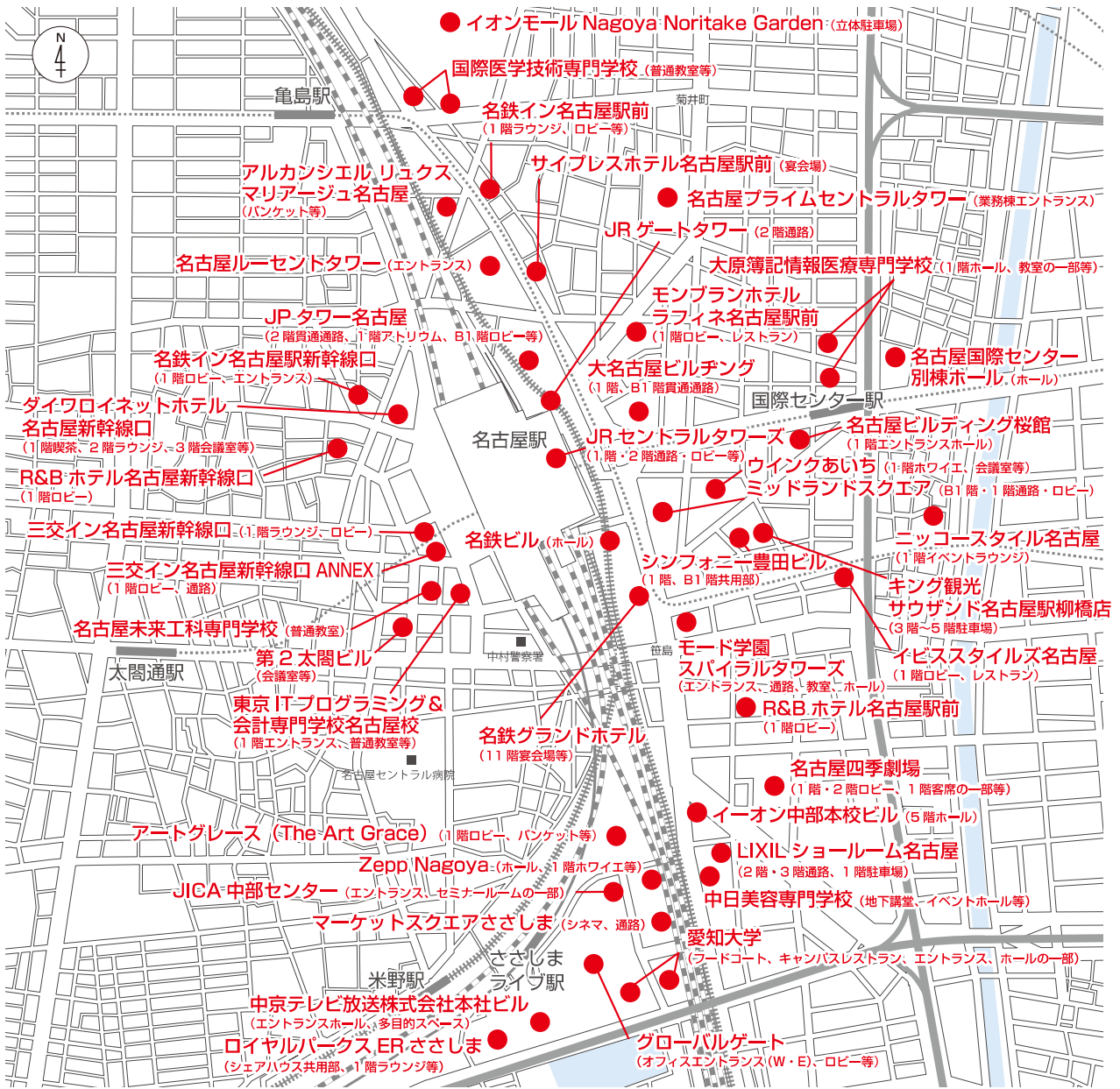


Chinese

① 歩いて帰れる方は、状況が落ち着いたなら、安全を確認しながらお帰りください。

② 行き場のない方は、下記の「退避施設」に移動してください。

※退避施設は、安全性が確認できたところから順次開設しますが、被災状況等によりお入りいただくことが困難な場合もあります。
 ※避難施設は、善意により場所のみを提供していただくものであり、ご利用にあたっては、各施設の指示に従ってください。
 ※退避施設の開設は、最長で大規模地震発生から24時間後までとなっております。(以降は退避施設を閉鎖します。)
 ※市立小学校・中学校等に開設される指定避難所は、自宅が被災した住民等が、一定期間、避難生活を送るためのところであり、退避施設とは異なります。



名古屋市帰宅困難者支援サイト



歩いて帰れる方へ

コンビニ等の「徒歩帰宅支援ステーション」ではトイレや水道水などの支援を受けることができます。



このステッカーが目印→

名古屋市防災アプリ

「名古屋市防災アプリ」では、「徒歩帰宅支援ステーション」や「退避施設」等の位置を確認できます。



iPhone/iPadをご利用の方



Android端末をご利用の方

安否確認方法

▶災害用伝言ダイヤル(171) <https://www.web171.jp/>

伝言の発信方法

1 伝言ダイヤル(171)にダイヤルして「1」を押す。被災地以外の方は被災地の電話番号を入力する。被災地の方は自宅の電話番号を入力する。伝言を入力する(30秒以内)

伝言の再発方法

2 伝言ダイヤル(171)にダイヤルして「2」を押す。被災地以外の方は自宅の電話番号を入力する。被災地以外の方は被災地の電話番号を入力する。伝言を聞く(30秒以内)

▶災害用伝言板(Web171) <https://www.web171.jp/>

▶携帯電話災害用伝言板

※他のスマートフォンから災害用伝言板を利用する場合は、事前に設定が必要です。

伝言の受信方法 <伝言板を詳しくはこちらをご覧ください(1000字まで)>
 伝言の送信方法 <伝言板を詳しくはこちらをご覧ください(1000字まで)>
 伝言の受信方法 <伝言板を詳しくはこちらをご覧ください(1000字まで)>

令和5年7月現在